

2026 年度入学試験問題
〔データサイエンス学部〕

学校推薦型選抜

小 論 文

〔論述（図表理解）〕

注 意

1. 指示があるまで、手を触れないこと。
2. 指示に従って、解答用紙に受験番号（算用数字）および氏名をはっきりと記入すること。
3. 解答は、解答用紙の指定された箇所に、横書きで記入すること。
4. 問題冊子は 8 ページ、解答用紙は 1 枚である。もし、問題冊子の落丁、乱丁および解答用紙の汚れなどがあれば、ただちに申し出ること。
5. 問題冊子は持ち帰ること。

問題（100点）

図表1～7は日本のICT産業^{注1)}に関する図表です。

これらをもとに以下の設問に答えなさい。

設問1

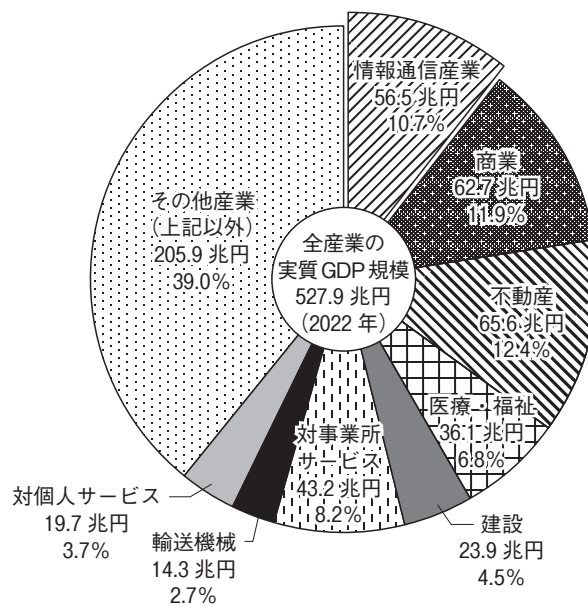
図表1～4をもとに、日本のICT産業の状況についての概観を300字以内で述べなさい。

設問2

設問1の回答を踏まえ、図表1～7をもとに、日本のICT産業を取り巻く環境について説明したうえで、今後発展させるために国や企業、個人として行うべき事柄について、合わせて500字以内で述べなさい。

注1) ICTは「Information and Communication Technology（情報通信技術）」の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指す。電話などの通信サービスやソフトウェア開発、パソコン・携帯電話・スマートフォンといった情報通信関連製造業、映像・音声などの放送サービス分野など情報処理や情報通信に関する幅広い領域である。ICT産業はインターネットやスマートフォンの浸透にともない、著しい発展を遂げた業界である。

図表 1 主な産業の実質 GDP^{注2)} (2022 年)

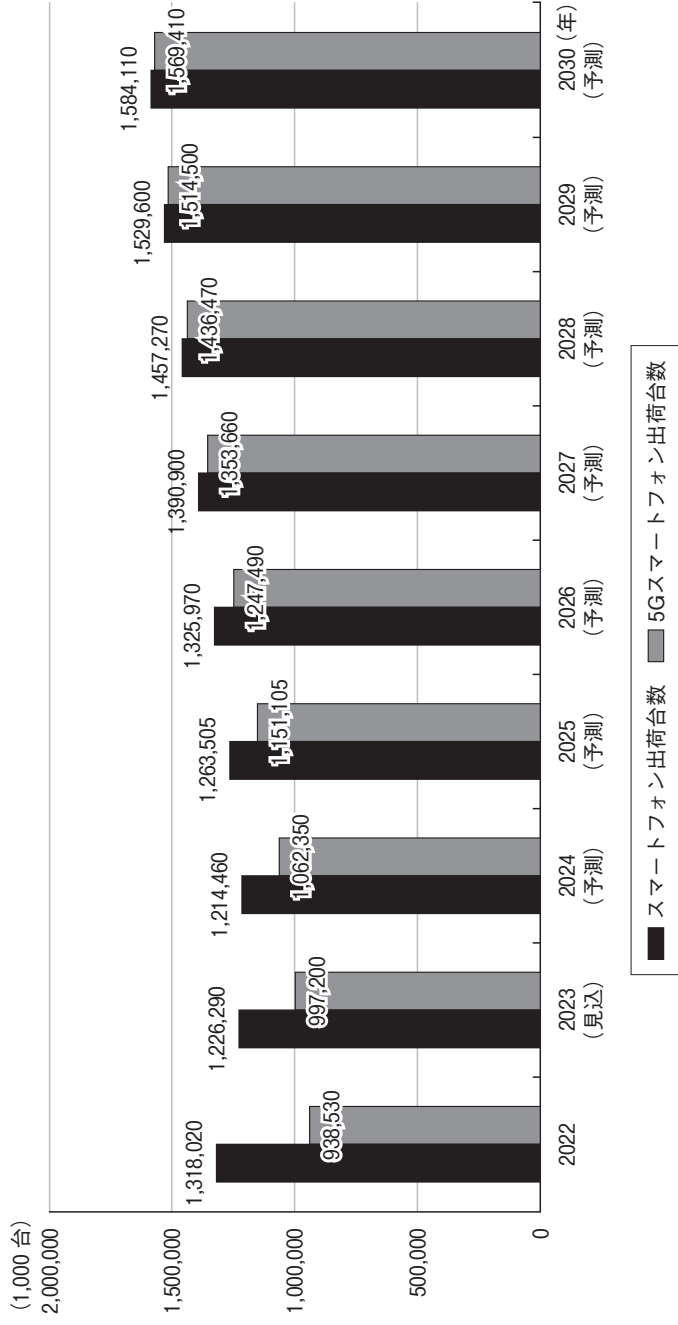


※実質 GDP は、2015 年価格で実質化したもの。

(出典) 総務省 (2024) 「令和 5 年度 ICT の経済分析に関する調査」

注 2) GDP とは一定期間内に国内で生産された財 (モノ)・サービスの付加価値の合計額である。物価変動の要素を除いた値が実質 GDP となる。

図表 2 世界のスマートフォン・5G スマートフォンの出荷台数推移と予測



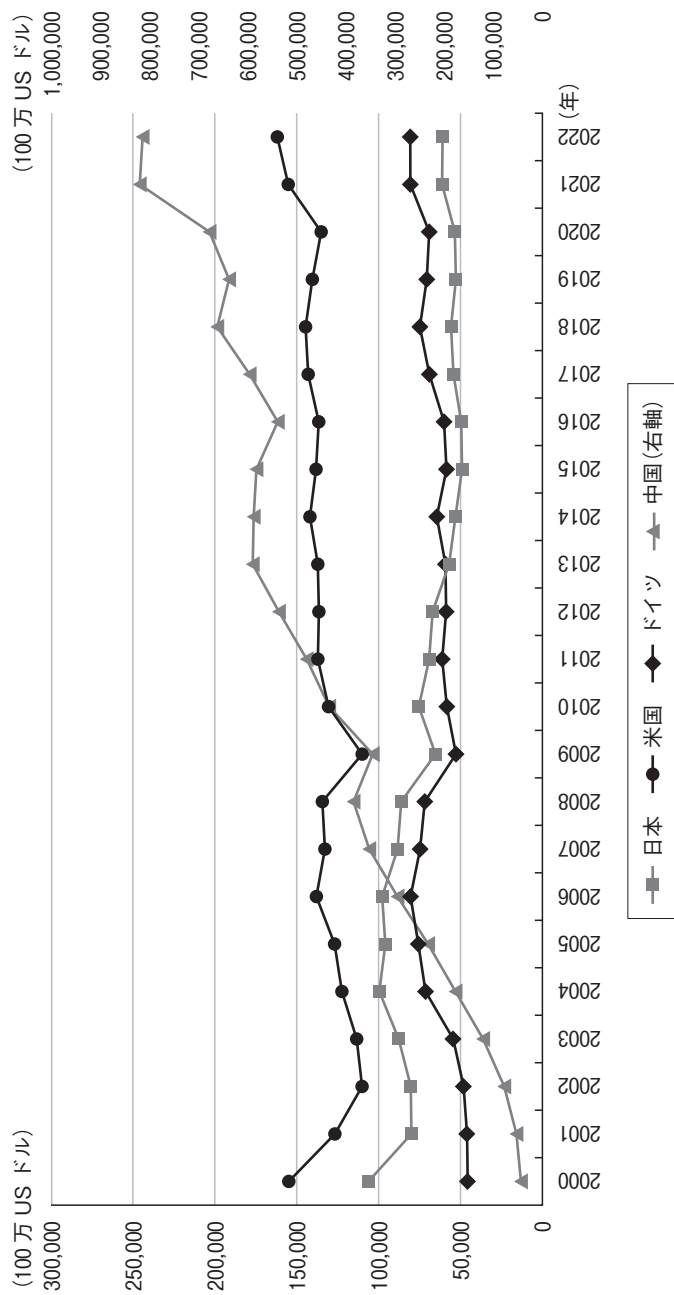
※ 1 メーカー出荷台数ベース

※ 2 5G スマートフォン出荷台数はスマートフォン世界出荷台数の内数

※ 3 2023 年は見込値, 2024 年以降は予測値

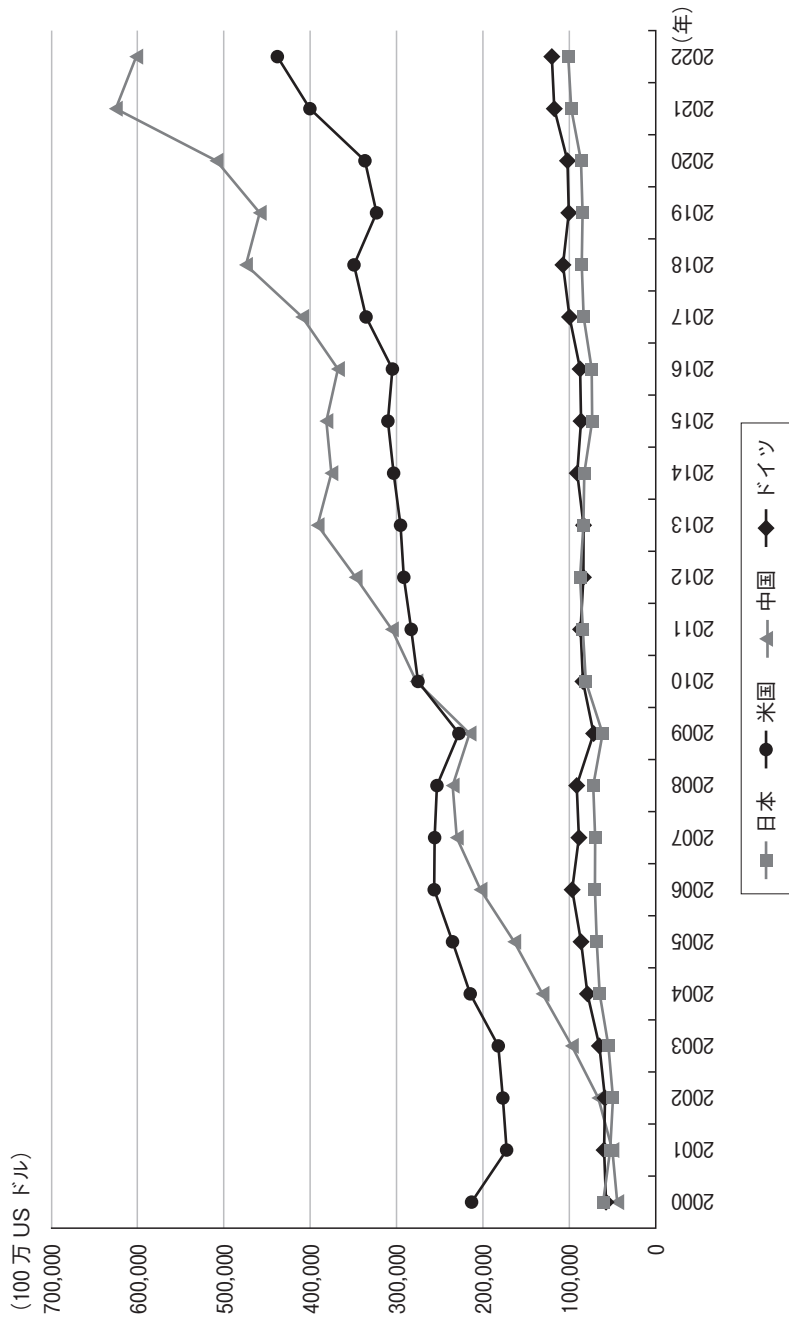
(出典) 株式会社矢野経済研究所 (2024) 「世界の携帯電話契約サービス数・スマートフォン出荷台数調査 (2023年)」

図表3 各国のICT機器・端末の輸出額の推移



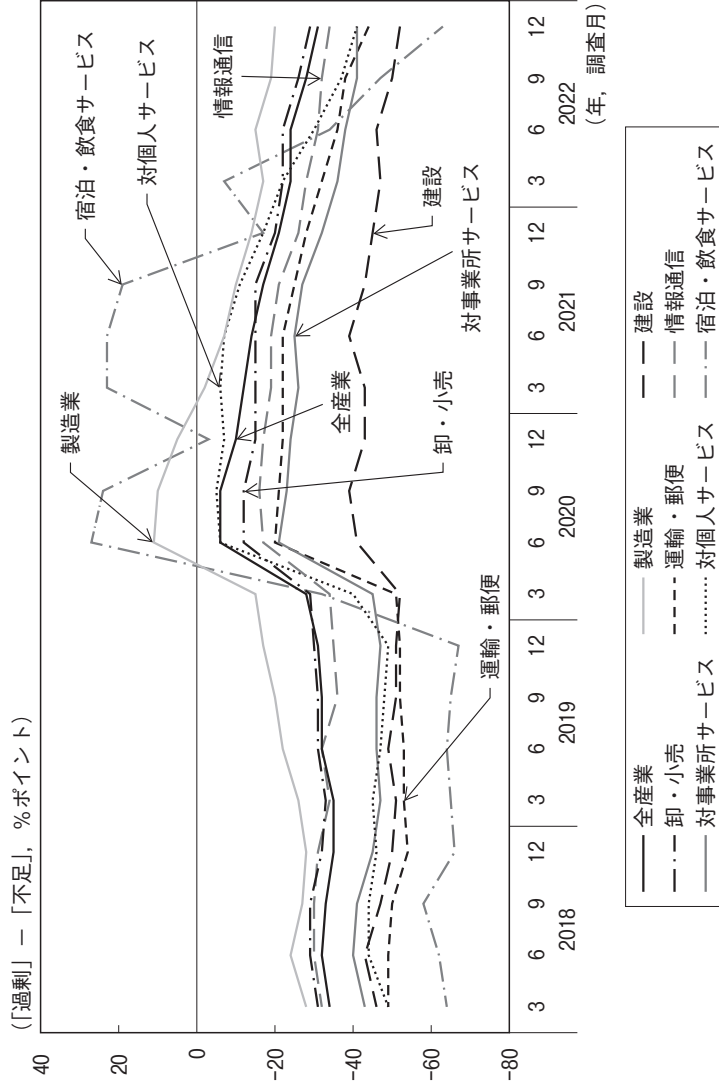
(出典) UNCTAD 「UNCTAD STAT」

図表4 各国のICT機器・端末の輸入額の推移



(出典) UNCTAD 「UNCTAD STAT」

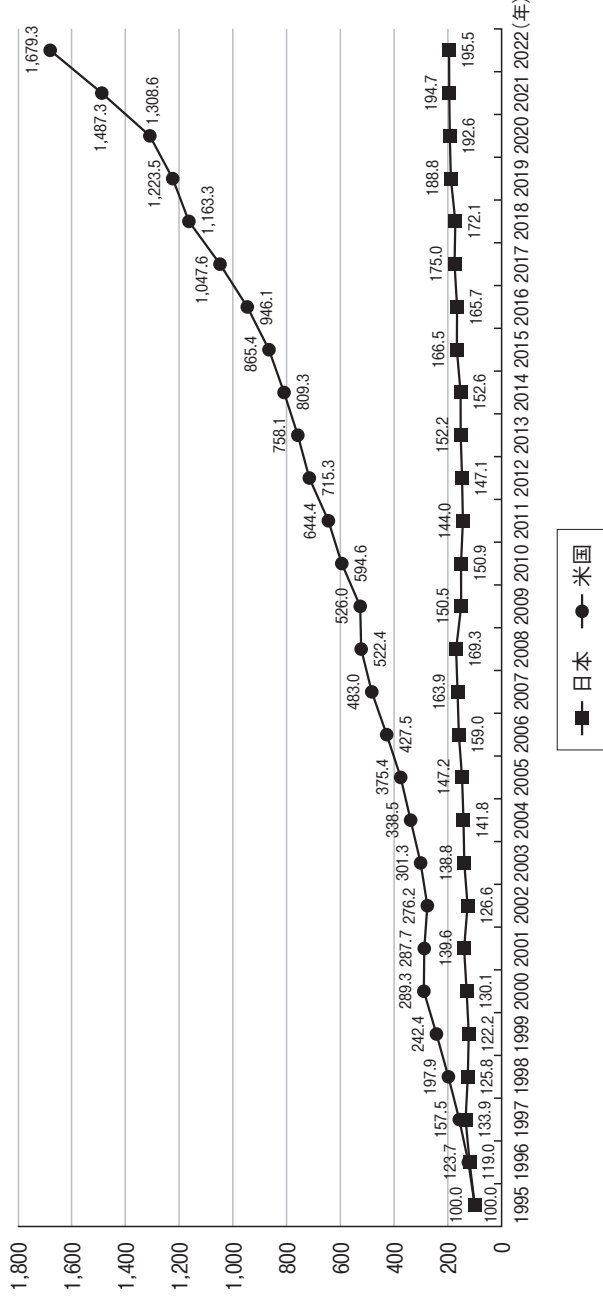
図表5 産業別にみた雇用人員判断 D.I.^{注3)} の推移



(出典) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」

注3) D.I.とはDiffusion Index (デフュージョン・インデックス)の略で、変化の方向性を表す指標である。雇用人員判断D.I.は企業における雇用人員について調査を行い、「過剰」「適正」「不足」の回答率から、「過剰」-「不足」を算出した値となる。よって値がプラスで大きいほど人が余っている状況であると理解できる。

図表 6 日米の民間情報化投資^{注4)}の比較

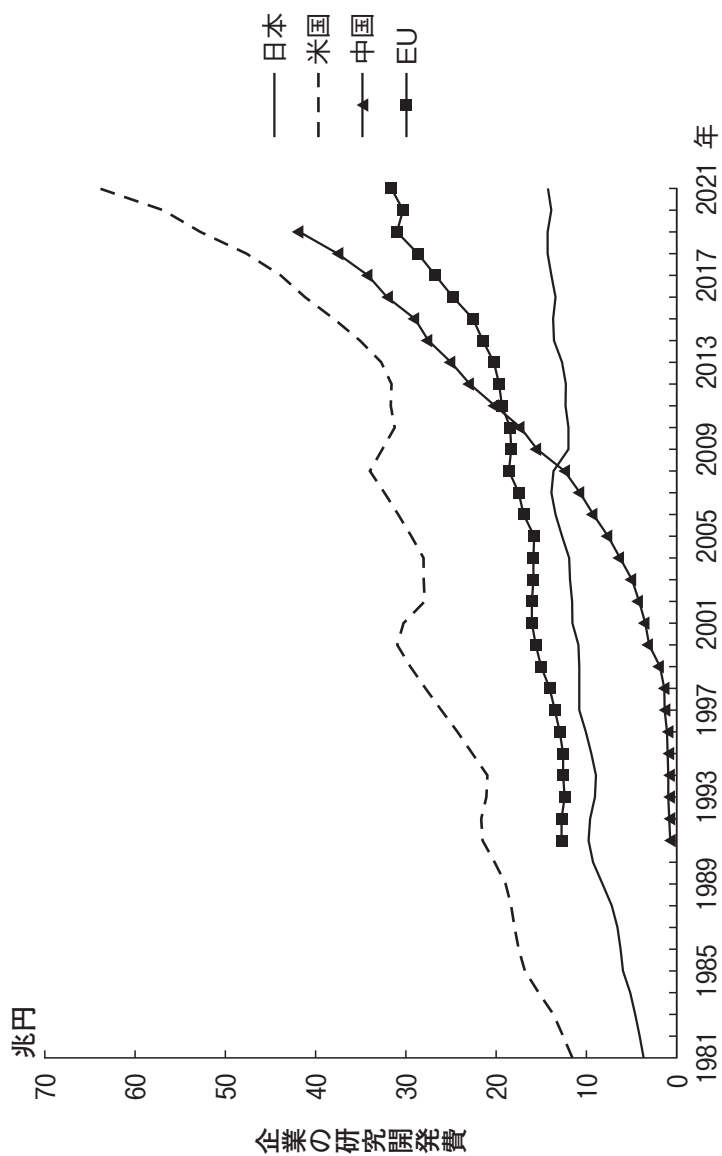


※ 1995年 = 100 として指数化(日本：2015年価格, 米国：2012年価格)

(出典) 総務省 (2024) 「令和5年度 ICTの経済分析に関する調査」

注4) 民間情報化投資とは、民間企業が自社の情報システムやデジタル技術に対して行う投資のことを指す。具体的には、電子計算機・同付属装置、電気通信機器、ソフトウェアに対する投資が対象となる。積極的な情報化投資は、企業が持続的に成長していくための重要な要素となる。

図表7 主要国における企業部門の研究開発費の推移



(出典) 文部科学省科学技術・学術政策研究所 (2023) 「科学技術指標 2023」